

かがわ自主ぼう 会報200号記念

講演会



日時 令和5年10月25日(水)

▶13:00開場 ▶13:30開演

場所 香川県社会福祉総合センター1F
コミュニティホール

講演 1

「自然災害は容赦なく襲ってくる」

▶講師：みやぎ東日本大震災津波伝承館 主任解説員 ^{たけ} ^{うち} ^{ひろ} ^{ゆき} 武内 宏之 氏



■ 略 歴 ■
昭和55年 (株)石巻日日新聞社入社。
警察・消防、水産、農業、経済、行政などを担当。
平成18年 編集局長
平成20年 取締役編集局長
平成21年 常務取締役報道部長(局制から部制に変更)
平成23年 東日本大震災発生
平成24年 石巻日日新聞社が設置した震災伝承施設「石巻ニューゼ」初代館長
平成29年 石巻日日新聞社を定年退職
令和元年 石巻市芸術文化振興財団 理事
令和3年 社会福祉法人「祥心会」 評議員
令和4年 みやぎ東日本大震災津波伝承館 主任解説員
現在の肩書 ・みやぎ東日本大震災津波伝承館 主任解説員
・社会福祉法人「祥心会」評議員
・石巻地区保護司会所属 保護司

1957年宮城県石巻市生まれ。66歳。東日本大震災時は(株)石巻日日新聞社常務取締役報道部長。震災翌日から手書きの壁新聞を避難所に配布。「菊池寛賞」「日本記者クラブ特別賞」「国際新聞編集者協会特別賞」を授賞。演題のは、災害は人間の事情に関係なく襲ってくる。自然災害には勝てない。逃げるのが大事であることを知ってほしいと思いこの演題にしました。

講演 2

「先人への感謝と地域への愛が育むレジリエンス」

▶講師：香川大学 特任教授・名誉教授 四国危機管理教育・研究・地域連携機構 副機構長
危機管理先端教育研究センター長 ^は ^せ ^{がわ} ^{しゅう} ^{いち} 長谷川 修一 氏



■ 略 歴 ■
1955年12月 島根県生まれ
1974年3月 松山市の愛光高校 卒業
1978年3月 東京大学理学部地学科 卒業
1980年3月 東京大学大学院理学系研究科修士課程(地質学専門課程) 修了
1980年4月 四国電力 入社
2000年3月 四国電力 退職
2000年4月 香川大学工学部助教授
2002年4月 香川大学工学部教授
2017年9月 香川大学工学部長
2018年4月 香川大学創造工学部長(2019年9月まで)
2021年3月 香川大学定年退職・名誉教授
2021年4月 香川大学特任教授
四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構副機構長

長谷川先生は大地の成り立ちから地域の強みと弱みを知り、強みを地域振興に、弱みを防災だけでなく、逆手にとって強みにかえることをめざされて幅広くご活躍をされております。日本応用地質学会会長、日本ジオパーク委員会委員など公的機関の役員・委員も多数ご歴任されております。またNHKの人気番組「ブラタモリ」のほか、NHK高松放送局ゆう6香川の「とち知り」にも毎月出演され、その土地の名産と名所から災害への心得を紐解くなど活躍の場を広げられています。

●主催：かがわ自主ぼう連絡協議会

後援：香川県、香川大学、香川県社会福祉協議会、日本赤十字香川県支部、香川県連合自治会、香川県防災士会、NHK高松放送局、四国新聞社、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送